

佛心寺 お手紙掲示板 六月



人と人とのつながりにおいて、完全に「分かり合う」ことは難しいものです。しかし「分かち合う」ことには大きな価値があります。

「分かり合う」とは、お互いの考えや感情を完全に理解することを意味します。これは理想的ですが、現実にはとても難しいことです。

一方、「分かち合う」は、物事や経験を共有し、お互いに支え合うことです。これは、相手の気持ちを完全に理解できなくても実践できます。

例えば・・・

- ・ 悩みを抱える知人の話を真剣に聞くこと
- ・ 喜びや悲しみの時間を一緒に過ごすこと

仏教の教えでは、すべてのものがつながっているという「主客一体」の考え方があります。この視点から見ると「分かち合う」ことの重要さがより明らかになります。

完全な理解を求めすぎず「分かり合えない」ことを嘆かないようにしましょう。代わりに、相手への思いやりを示したり一緒に時間を過ごすなど「分かち合う」ことを意識して行動することで、より豊かな人間関係を築くことができます。

合掌

「分かり合う」と 「分かち合う」

お盆合同法要の予約を受付中です。

お早めにお申し込みください。

「分かち合う」時間を一緒に過ごしましょう！